

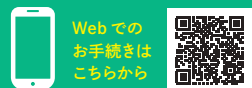


ゆめカード会員さま 限定サービスのご案内です

いつもご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
このたびは日ごろからご愛顧いただいているお客さまへ、
医師が勧める「SBI 実額補償がん保険^{※1}」をご案内させていただきます。
ゆめカード会員さま限定の特別なご案内となります。

申込締切日

2026年7月31日(金)



<https://www.sbisonpo.co.jp/dg/cha/youmecard/p/2606.html>

「SBI 実額補償がん保険」は...

保険商品で唯一の『AskDoctors 医師の確認済み商品』に認定されている
SBI 損保が提供するがん治療費用総合保険と同一の保険です!

「SBI 実額補償がん保険」は医師も推奨



医師100名の**93%**が
勧めるがん保険^{※2}

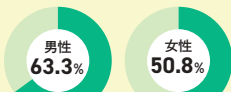
2025年3月 AskDoctors調べ

治療費の負担を気にせず、最善の治療を選ぶようにと「SBI 実額補償がん保険」は誕生しました。
がん治療に携わる医師からも、「SBI 実額補償がん保険」を人に勧めたいと評価をいただいております。

がんにかかっても、**経済的な心配をすることなく治療に専念いただくためのがん保険**です。

2人に1人は「がん」に。

一生涯でがんにかかる割合



【出所】国立がん研究センターがん情報サービス「最新がん統計」がんに罹患する確率～累積罹患リスク（2021年データに基づく）

がん保険って必要かな？



「自由診療」って何？

自由診療とは、公的な健康保険が適用されない薬剤や医療技術による治療のことです。治療にかかる費用はすべて自己負担（10割負担）となります。自由診療のメリットは、治療の選択肢が増え、自分の体質や病状にあった治療を制限なく受けられること、また、日本では未承認でも海外では承認済みのような最先端の治療を受けることも可能になります。デメリットは、医療費の自己負担が高額になる場合があることです。

高額になりやすい、自由診療の治療費例

自由診療	自由診療	自由診療
非小細胞肺癌 一般名： テリソツズマブ ベドテン (薬剤商品名の例： Emreli TM) 約 7,222 万円 ^{※3} (想定治療期間： 約7か月)	胃がん・ 食道胃接合部がん 一般名： デュルバルマブ (薬剤商品名の例： イミフィンジ [®]) 約 1,187 万円 ^{※3} (想定治療期間： 約13か月)	子宮体がん 一般名： ドスタルリマブ (薬剤商品名の例： Jemperli [®]) 約 1,445 万円 ^{※3} (想定治療期間： 約7か月)

※1「SBI 実額補償がん保険」は、SBI 損保が提供するがん治療費用総合保険のベトナム名です。 ※2 AskDoctors 評価サービスは、34万人以上の医師会員を有する日本最大級の医療従事者向け専用サイト「m3.com」を選択する「m3.com」株式会社、会員医師による商品やサービスに対する客観的な評価を行うサービスです。 ※3 調査機関と SBI 損保の調査をもとに算出(2026年4月1日時点)。臨床試験結果(治療結果や無増悪生存期間など)を参考とした想定治療期間における薬剤費の概算総額です。実際には患者の体格、症状、投与頻度、併用する薬剤などにより変わります。テリソツズマブ ベドテン、ドスタルリマブの薬剤費は参考価格、デュルバルマブの薬剤費は薬価基準によります。

「SBI 実額補償がん保険」のおすすめポイント

おすすめポイント
1

保険診療はもちろん！先進医療・自由診療も！実額補償^{※1}

治療費の心配をせずに最適な治療を受けていただけるように、入院日数や通院日数に対して一定額の保険金をお支払いするのではなく、がんの治療に実際にかかった治療費を「かかった分だけ」お支払いいたします。

補償内容

保険期間:5年(90歳まで自動更新)

お支払いする保険金

基本補償	お支払いする保険金
<ul style="list-style-type: none"> がん入院保険金 <ul style="list-style-type: none"> がん治療で入院したとき がん治療で入院中に手術したとき 入院でがん治療で先進医療、自由診療^{※1}を受けたとき がん通院保険金 <ul style="list-style-type: none"> 通院でがん治療を受けたとき がん治療で通院による手術を受けたとき 通院でがん治療で先進医療、自由診療^{※1}を受けたとき 	<p>入院日数に制限なく、がん治療にかかった費用を無制限に補償</p> <p>通院日数に制限なく、がん治療にかかった費用を最大1,000万円まで補償</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通院の補償にはセカンドオピニオン外来の費用も含まれます。 ● 契約更新時(5年ごと)に限度額が1,000万円に復元します。 <p>がん(悪性新生物、上皮内新生物)の治療にかかった分の治療費をお支払い^{※2}します</p> <p>自己負担は実質0円^{※3}になります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 診断書などの文書料も含まれます。

+ がん診断保険金の保険金額は任意でご選択いただけます

任意選択



がん(悪性新生物、上皮内新生物)と診断確定されたとき



診断保険金を一括でお支払い

● 300万円/200万円/100万円/なしのいずれかをお選びください。
● がん診断保険金が「なし」の場合は診断保険金は支払われません。

お支払い条件を満たせば
何度でもお支払いします

おすすめポイント
2

治療に専念していただくための充実サポート!

万が一、がんの疑いが生じた場合やがんと診断されたときに、最適な治療に専念していただけるように検査や治療のご相談から治療費を医療機関に直接お支払いできるなど、さまざまな面でお支援いたします。

加入者専用のSBI 損保メディカルセンター

検査や治療の相談・紹介

加入者さまが「がんの疑いの診断」や「がんの診断確定」を受けた場合、検査や治療法など、がん治療についての一般的な情報を無料でご相談いただけます。

SBI 損保メディカルセンターのご提供サービス

看護師などの資格をもった
専門スタッフによる相談受付サービス

全国の医療機関および専門医療情報の
ご提供

セカンドオピニオンに対応している
医療機関情報のご提供

がん治療に関する専門医との
電話医療相談サービス

※上記の医療相談サービスは、SBI 損保の提携会社が提供するものです。なお、サービスの提供ができない場合や内容が予告なく変更される場合があります。

「先進医療」と「自由診療」については、治療費を医療機関に直接お支払い

高額な医療費の立て替え不要!

公的医療保険適用外となる先進医療や自由診療の治療費については、加入者さまに代わって、SBI 損保から医療機関に直接お支払いすることが可能です。

SBI 損保が加入者さまに代わって
医療機関へ直接お支払い!



※保険金の支払可否(有無)の判断後となります。また、保険料未取の場合や医療機関によっては、ご利用いただけない場合があります。

※1 SBI 損保の支払基準を満たす診療に限り。 ※2 公的医療保険制度にて保障されるべき金額(保険診療で可能な診療を自費診療にて行った場合の保険診療相当分、高額療養費相当額)はお支払いの対象とはなりません。治療費を支払うほかの保険契約などから保険金などが支払われた場合または優先して支払われる場合は、治療費などの実額から、その保険金などの額を差し引いて保険金をお支払いします。 ※3 一部例外となる場合があります。

「SBI 実額補償がん保険」は医師も推奨

医師の推奨率
Ask
Doctors
93%

医師100名の93%が「SBI 実額補償がん保険」を人に勧めたいと評価しました

2025年3月に、がんの診療に直接携わる医師に対し、「他人への推奨意向」「自身での利用意向」に関する調査を行いました。調査の結果、医師100名の93%が周囲の人に「勧めたい」と回答、82%が自身で「利用したい」と回答しました。(AskDoctors 調べ)

※「SBI 実額補償がん保険」は、AskDoctors 医師の確認済み商品に認定されている SBI 損保が提供するがん治療費用総合保険と同一の保険です。

医師の使用率
Ask
Doctors
82%

〓 お医者さまからの感想や推奨理由を一部抜粋しました。〓



放射線科 / 48歳 / 男性

抗がん剤の未承認薬・適応外薬についても補償される可能性があるのは良いと思います。治療後に承認されるまで時間がかかりますので、最近の抗がん剤の進歩は目を見張るものがある一方で、薬剤費の高騰は著しいので、患者になった場合、経済的・心理的負担は大変なものがあります。未承認薬も含め、こちらの補償に魅力を感じます。



泌尿器科 / 55歳 / 男性

働く世代に特に勧めたいと思います。高額医療制度を使っても自己負担金は高齢者よりも高く、また長期になるため経済的に厳しくなることが予想されます。私自身も加入している保険は一時金などよりも長期に治療費を保障してくれる保険に入っています。今回の保険は治療費を実額補償されるという現在の癌治療にあっており、また先進医療や海外で承認されているも国内で保険適応となっており治療でも補償されるというニーズにも対応できる画期的なものに思われます。



緩和医療 / 42歳 / 女性

高額療養費制度も引き上げが予定されており、今後ますます支払いが難しくなる。私自身、実際に当該商品に加入している。



小児科 / 33歳 / 女性

未承認薬や適応外薬など高額になりうる薬剤の補償も行っているから。特に家庭を背負った働き盛りの方にはびったりだと思う。



耳鼻咽喉科 / 52歳 / 男性

保険診療のみならず、先進医療や自由診療も実額補償という幅広くカバーしている点、医療機関に直接支払いされ、手間がかからない点、インターネット活用での保険料が手頃という加入しやすい点がおすすめの理由です。



放射線科 / 43歳 / 男性

保険診療だけでなく、先進医療や自由診療も実額補償というのは大変魅力的だと思う。これらの費用は高額になる可能性があり、保険で補えると治療を受けられる機会が得られるので、契約者にとっても大変メリットのある項目だと思う。



乳腺外科 / 58歳 / 男性

実額補償であるという点が魅力、今すでに保険に加入しており、未発症の方も、こちらの保険に乗り換えを検討してもよい。

【調査概要】

対象商品：SBI 損保が提供する「がん治療費用保険」「がん治療費用総合保険」、調査方法：資料を提示した上での Web アンケート調査、調査対象：厚生労働省が定めるがん診療拠点病院またはその他がん診療に力を入れている病院のいずれかに勤務し、がんの診療を主とする m3.com 会員医師、調査時期：2025年3月
※掲載コメントは回答に際して寄せられたものであり、あくまで個人的な感想となります。

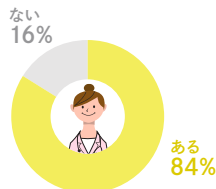
column * がん発生のメカニズム

細胞が分裂するときの「コピーミス」で「がん」がはじまる

私たちの体は約60兆個の細胞でできており、細胞は絶えず分裂することによって新しく生まれ変わっています。細胞分裂は、細胞の設計図である遺伝子をもとにコピーされることで起こりますが、発がん物質などの影響で遺伝子が突然変異し、「コピーミス」が起こることがあります。このコピーミスが「がん」のはじまりです。ただし、コピーミスが起きても、すぐにがんになるわけではありません。健康な人でも1日約5,000個のコピーミスが起こっているといわれています。通常、コピーミスで生まれた異常な細胞は、体内の免疫細胞の標的となり、攻撃されて死滅します。ところが、免疫細胞の攻撃を逃れて生き残る細胞がいて、「がん細胞」となります。それらが異常な分裂・増殖をくり返し、10～20年かけて「がん」の状態になります。

【出所】全国健康保険協会ホームページ「健康サポート」気になる病気辞典【がん】より

〓 がんにかかっても経済的な心配をすることなく、治療に専念いただけます 〓



Q. 患者さまの経済的事情により、診療計画を立てる際に治療法を制限されたり、一度立てた計画の変更・見直しを行ったことはありますか？

2017年調査時の78.1%から83.6%に増加！
経済的負担に不安を感じて治療法を見直す患者さまがより増えていると考えられます。

生活や収入に影響が出ることも。

【収入の変化】

がん治療のための休職により、収入が減少した

47.2%

さらに、このうち56.4%の方が休職前に比べて収入が6割以下に減少

【生活の変化】

治療の継続や家計の維持のために貯蓄を切り崩した

27.3%

がんと診断された方のうち46.8%が生活に変化があった

生活水準を落とした

13.1%

……など

【出所】独立行政法人労働政策研究・研修機構「病気の治療と仕事の両立に関する実態調査」（2018年7月発表データに基づく）

Q. 治療費に不安を抱く患者さまにとって、「定額保障タイプのがん保険」と「実額補償タイプのがん保険」のどちらが望ましいと考えますか？

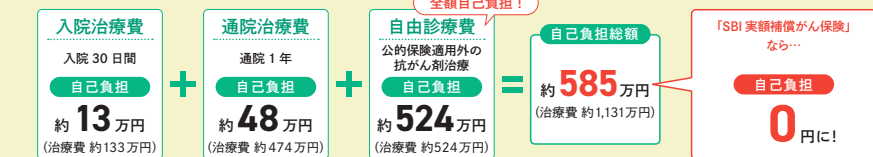
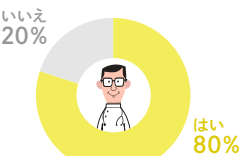
現在がん保険の主流である、支払われる保険金があらかじめ設定されている「定額保障タイプのがん保険」を抑え、多くの医師が、治療や手術にかかった費用をかかった分だけ補償する「実額補償タイプのがん保険」を望ましいと考えています。

Q. 患者さまが「実額補償タイプのがん保険」に加入していた場合、患者さまに最善の治療を行うことができると考えますか？

自由診療の治療費も実額で補償する「実額補償タイプのがん保険」に患者さまが加入していた場合、80.0%の医師が最善の治療を行うことができると考えています！
患者さまの経済的な備えが、がん治療の選択肢を広げます。

【調査概要】

調査標本：エムスリー株式会社が運営する m3.com の会員 医師、調査方法：m3 Fast Survey（エムスリー株式会社が発行する医療従事者対象リサーチサービス）、調査内容：がん治療費、保険外診療（自由診療）およびがん保険に関する調査、調査対象：がん治療において、米国の NCI（米国国立がん研究所）や NCCN（全米総合癌センターネットワーク）などのがん診療ガイドラインを参考にすることがあり、100床以上の病院に勤務する一般外科医110名、調査時期：2024年10月



【出所】平成31年1月17日中央社会保険医療協議会総会資料「平成30年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について」（平成29年7月1日～平成30年6月30日の実績報告より）

● がん治療費と保険金のお支払い例

Aさん（45歳 男性）の場合 病名 肝臓がん

「自由診療を受けても、自己負担が0円だったので助かりました」

40歳になってから定期的に人間ドックを受けています。あるとき、超音波検査で肝臓に大きな影が見つかり、すぐに精密検査を受けたところ肝臓がんと診断。自覚症状はなくて、がんと診断されたときにはとてもショックでした。手術や放射線治療などの適応がなく、抗がん剤治療を受けることになりました。公約医療保険で使える抗がん剤が効かなくなったとき、主治医から海外では承認されているものの、日本では肝臓がんには承認されていない適応外薬の選択肢について説明を受けました。全額自己負担となりますが、その治療が受けられる病院を主治医から紹介していただき、現在も治療を継続しています。



※写真はイメージです